

各関係機関長  
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センタ - 所長

平成 2 1 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号について

平成 2 1 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号を発表したので送付します。

---

### 平成 2 1 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

- 1 病害虫名：チャノキイロアザミウマ ( *Scirtothrips dorsalis* Hood ) ( 新規系統 )
- 2 作物名：マンゴー
- 3 発生確認の経過  
平成20年に高知県のピーマン、シシトウで生長点の伸長を阻害する被害が確認され、遺伝子診断の結果、従来発生していた個体群とは異なる新規系統であることが明らかとなった。  
本県では平成21年8月～平成22年1月に県内13市町村46ほ場（ピーマン8ほ場、マンゴー26ほ場、キンカン1ほ場、チャ11ほ場）でチャノキイロアザミウマの発生調査を行い、マンゴーとチャの37ほ場で採集した成幼虫を農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所の果樹害虫研究チームに遺伝子診断を依頼した結果、マンゴーで宮崎市、都城市、日南市、日向市、串間市、西都市、三股町、野尻町、高鍋町、新富町の計10市町村25ほ場で新規系統の発生が認められた。
- 4 分布  
新規系統の遺伝子型は東南アジア、および南アジアの個体群と同一、あるいは極めて類似している。国内では平成20年に高知県と沖縄県のピーマン、高知県のシシトウ、平成21年に鹿児島県のマンゴー、ハウスミカンで発生が認められている。
- 5 寄主  
在来系統では61科200種以上（ツバキ科、バラ科、ミカン科、ブドウ科、スイカズラ科、マキ科、カキノキ科、ウルシ科を好む）が報告されているが、新規系統と遺伝的に類似した海外の系統は、パッションフルーツ等の各種熱帯果樹、ピーマン、草本類、木本性マメ科植物等、在来系統の寄主植物以外にも寄生する。
- 6 形態  
従来系統との違いはなく、成虫の体長は雌約0.9mm、雄約0.8mmで、体色は雌雄ともに黄色である。翅を閉じると背部中央が黒く筋状に見える。
- 7 被害状況  
新梢や新葉の裏面や花、幼果に寄生し、落葉させたり果実の表面を劣化させ、収量・品質の低下を招くが、被害は従来系統と同程度である。
- 8 防除対策  
農薬による防除を行う場合は、本種に適用のある登録農薬を使用し、系統を替えてローテーション散布し、薬剤感受性の低下を防ぐよう留意する。  
黄色粘着テープ及び光反射シートを設置し、ハウス内への侵入を防ぐ。

9 その他

従来被害が発生しなかった作物（ピーマン、シシトウ）に被害が発生する。

10 参考文献

土田(2009) 植物防疫 63:452-454

梅谷ら(1988) 農作物のアザミウマ 192-233

高知県病虫害防除所発表 平成20年度病虫害発生予察特殊報第1号

沖縄県病虫害防除所発表 平成20年度病虫害発生予察特殊報第3号

鹿児島県病虫害防除所発表 平成21年度病虫害発生予察特殊報第5号

《連絡先》

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 邊見

TEL :0985-73-6670 FAX :0985-73-7499

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ : <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>